

1 年緑風・スーパー特進コース

私は、神戸新聞記者の話を聞きました。記録や映像と繋がるリアルな記憶やお話には、今までお話をしていた人々とは違った感触があって面白かったです。誰もが寝ていて驚いて気付かずガラスを踏んでいたなんて話すのに、記者の方は当直だったために起きていて他の人より鮮明に憶えていたようでした。記者という立場でこそあの時多くの人と話し、多くの写真を撮り、残す事ができたのだと思います。このリアルタイムな記録の貴重性を考えると、こういった話を聞くのも面白いと思いました。

(質問) 記者になって一番興奮して面白と感じたことは何ですか？

今日は、地震について詳しく教えていただきありがとうございました。地震は突然やってきて、日常が一瞬で変わってしまう恐ろしいものだと思っていました。電気や水の有り難さがよく分かりました。高速道路が倒れるという自然のすごさにとっても驚かされました。防災の準備をしっかりとっておかないといけないということが分かりました。家の家具に地震対策の器具を取り付けようと思いました。

最近、災害関連死で亡くなっている人が増えてきていると知ってびっくりした。どんどん耐震性の高い建物だったり、家具の固定など、地震に対する対策の意識が高まって来ているけど、いつ来ても数日間は過ごして行けるような準備までが、しっかりできていないのではと思った。起きてから必要な物を手に入れるのは難しいことなので、いかに準備をしていく事が大切か、話を聞いて実感した。阪神・淡路大震災をはじめとする、今までの自然災害の教訓を大事にして、自分たちの命を守れるようにしていきたい。

今日は、貴重な経験をお話しいただき、ありがとうございました。震災当時の写真と実体験の生々しさがひしひしと伝わってきて、今までの防災学習の中で一番と言っていいほど記憶に残るものとなりました。新聞という皆が手にし、読むものの中で、いかに伝えたい情報を伝え安心してもらえるかを大事にされている所がすごいなと思いました。今後確実に起こるだろう南海トラフ巨大地震に向け、阪神・淡路大震災の教訓を受け継ぎ、しっかり防災したいなと思いました。これからも、お仕事頑張ってください。

私は今回、三好さんからの話を聞いて、地震の恐ろしさや日ごろからの備えが大切だということを学びました。特に私は、地震で自分以外の家族が亡くなった当時洲本第三小学校六年生の女の子の話が印象に残りました。なぜなら、亡くなった家族のやりたいことをしようと立ち直る姿に心を打たれたからです。他にも淡路島内の被災した様子を写した写真にも心を打たれました。また白井さんが制作された「幸せを運べるように」は私も歌ったことがありますが、阪神・淡路大震災が関わっていると改めて知りました。この歌がアレンジされて全国の被災地で歌われていることを知り、震災に対する想いは受け継がれていくんだと考えました。今回は、阪神・淡路大震災についてお話頂きありがとうございました。また、今回のような活動をされている人のお話も聞いてみたいと思いました。

今日という日が、平和で乗り越えられることに日々感謝しなければならないと、今回の貴重なお話を聞いて再確認できました。いつ地震が起こってもおかしくないこの状況において、「一日が平和」とする前提は、地震の起こる確率は低くても間違っているかもしれません。今一度、家族で避難場所を確認したり家具を固定したり、さらに近隣の人とも日常的に会話して、いざという時に協力できるようにすべきだと思います。自助・共助・公助、これらのことを心に置いて日々過ごしたいです。今日は、遠いところから来てくださりありがとうございました。

震災から長い年月が経っている中で、当日の街の状況や、どれだけいきなりのことだったのか映像などを通して改めて知れて良かったです。地震によって高速道路が倒れてしまったのが一番衝撃的でした。大きな地震が来た時にはどこにいても安心できないと実感しました。これから南海トラフが本当にいつあるのか分からないのでいつでも最適な行動がとれるように、常に対策をして過ごしていきたいです。

阪神・淡路大震災の講演を聞いて、自然災害の恐ろしさや自助・共助の重要性について再確認できました。災害は、いつ起こるかは誰にも予測できませんが、準備をしておくことや過去に起こった災害から学び生かすことは可能であると考えました。現在では、阪神・淡路大震災を経験した方も、していない方でも震災について理解を深め、語り継ぐ活動が行われていると知り、私もまず家族や友達などの身近な人々と話し合っ、深く理解していきたいです。ありがとうございました。

今回、阪神・淡路大震災の話聞いて、知らなかったことがいくつかありました。まず、思っていたよりも、神戸が火の海になっていたことです。火災があったのは知っていましたが、あれほど被害を受けているとは思っていませんでした。そして、神戸新聞が発行できない危機に迫っていたことが驚きでした。京都新聞と協定を結んでいたことで、新聞を出すことができたこと聞いて、本当にすごいと思いました。もし、本当にこのような大災害になってしまったら、ライフラインは途絶えてしまうと思うので、正しい情報源として、新聞はいつの時代にも必要だと思いました。写真や動画などを使っての説明だったのでとてもわかりやすかったです。本当にありがとうございました。

私は、今日の講演を聴いて、具体的でとてもリアルな話が聞けて良かったと思います。防災教育の時、毎度見るのが神戸新聞社の写真でした。一面に貼られていた窓がほとんど割れているのが、地震の大きさを実感できてとても印象に残っていました。その現場に実際に居た話を聞けるのは、とても光栄なことで大切にしたいと思います。被災してない人が、語り継いでいくという言葉は、私の震災への向き合い方に大きな影響を与えました。そんな事を考えたことが無かったからです。経験していないから、知らないからこそ分かることがあることに気がきました。

今回の話を聞いて久しぶりに地震の事を思い出せて良かったです。正直地震の怖さに関しては、母親から聞いているので、少しは理解しているのですが、恐怖だけ感じてしばらくしたら、大体何も考えなくなるのでこういう講演を聴いて定期的に思い出させて頂いてありがたいです。

(質問)家の周辺に高台とかが無い場合、南海トラフ地震の時はどこに避難すればいいですか。(淡路市在住なので津波が来るか分かりませんが念のため)

今日は、貴重なお話をありがとうございました。映像が、おもしろくて続きが気になりました。機会があれば見たいです。今までたくさん防災について学んできたけどこんなに詳しく知れたのは、初めてです。新聞をあまり読まないけど、これを機会に読んでいきたいと思いました。災害がいつきてもいいように家族と話し合っ
て備えていきたいです。とても長い時間話してくださってうれしかったです。今日は、ありがとうございました。

今回の阪神・淡路大震災についての人権学習を通して、改めて地震の恐ろしさやその当時の状況などを考えさせられました。一番びっくりしたのは、死者の数でした。淡路島の死者数が100人にとどいていなかったことです。人口密度も関連あると思うけど、それでも少なくて良かったなと思います。「幸せ運べるように」に関しては義務教育レベルで知られていて、影響力がすごいと思いました。いつ起こるかわからない南海トラフ地震に備えたいと思います。

今日は、震災について詳しく知れました。今までもたくさん勉強していたので、大体は知っている事でした。でも改めて地震についてもっと知れたと思いました。そして、新聞ってすごいなとも思いました。どんな状況でもみんなに情報を伝えるために頑張っているんだなとも思いました。でも、私は新聞を取っていません。今は、スマホという便利なものがあるので、新聞を取る人はどんどん減るんだろうなと思います。

今日の講演を聞いて、阪神・淡路大震災については、校外学習で野島断層などを見学してある程度知ったつもりでしたが、神戸のような都市特有の被害や、新聞社の対応について知れて、勉強にも生かせるような気がしました。新聞記者として、災害の写真や被災者の写真を撮らなければいけないことはとても辛かったでしょうが、それでも新聞は数少ない紙面で必要な情報をまとめ上げ、被災者の方たちに安心や冷静さを与えることができるのは、素晴らしいと思いました。

今回は、講演を聞かせていただいて、私は多くの学びを得ることができました。その学びとは、普段教室で授業を受けて得るものとは全く異なり、本当に良い機会をいただけたのだなと深く深く感じております。あの恐ろしい災害からもう三十年が経ち、私は正直、「もう昔のことでしょ。」という非常に甘ったれた考え方を
しまっていたのですが、今思えばなんて自分は愚かだったのだろうとつくづく思います。この大災害を語り継

いでいくことが、私たちに、そして未来の世代の人たちに託された使命なのではないかということに気が付きました。これから、いつどこで災害が起こるか分からない訳ですが、「自分が他人にできることは一体何なのか。」この問いを自分の心で抱き続け、答えを探すために様々なことをやっていきたいと思います。

3年アスリート進学コース

小学校からよく聞いていた話だけど今回は記者の人たちの新しい目線から話をされて新しいことを知りました。最後に地震が起きたらどうしたらいいのかの話をされたから忘れないようにしたい。

今日の話聞いて、阪神・淡路大震災について小中学校の時にも同じ話をされることはあったけど実際に被災した人から話を聞くことは今回が初めてで、やっぱり実際に体験した人から話を聞いた方が、話が耳に残るし、当時のつらさや大変さが伝わった。新聞スリッパ良かったです。

親とは話し合って逃げるルートを確認しておきたい。地震は怖い。

地震が来た時、すぐに逃げられるように家族と話しあっておきたいと思った。

今回の授業をした時に地震については中学校の時とかいっぱいしたけど、高校に入っても感じることはいっぱいなので今後も気をつけたいです。

地震は、いつ来るかなんて誰も分からないからこそ、すごい怖いものなんだなって改めて思った。南海トラフがいつ来るかは分からないけれどまずは自分の命を守る。

あの動画は小学校や中学校で見たことがあった。南海トラフ地震が起きたらどうするか考えないといけない。

地震のことが分かりました。逃げるルートとか改めて確認したいと思った。ベッドの横にスリッパを置いておきたい。

今まで少ししか分かってなかったけど、今日の話で良く理解した。地震って怖いなあと改めて思った。避難の大切さが分かった。命の大切さが分かった。昔の人の気持ちや体験がよく分かった。

自分は小学生の時からずっと震災学習をしてきて、改めて阪神・淡路大震災のすごさと南海トラフの危機感を感じました。これからも地震に備え安心・安全な暮らしをしていきたいです。

自分たちは南海トラフ地震が生きている間に来るから、今日聞いた話を活かして生きていきたい。新聞紙でスリッパを簡単に作れることを知ってすごいと思った。

たくさん準備していてもその時になったら行動できるか分からないから怖い。

地震って横に揺れるだけでなく縦にも揺れることを知った。大変だった事を聞いて、自分も南海トラフ地震があるから、その時に備えて準備をしないといけないと思った。

地震はいつ来るか分からないから、普段からもっとたくさんの人と話したり、集合場所を決めたりしていつでも逃げれる準備が必要と思った。

小学校・中学校の頃から災害のことは学んでいたけど、今日の話は今までで一番詳しくて災害等の状況などがよく分かりました。しっかり災害に備えることが大切と分かりました。

地震は、いつどこで起こるか分からないし、その起きるまでにどれだけ準備して備えることができるかがとても大切だと思いました。なので地震が来る前に自分のできる準備を全力でしたいと思います。

自分たちはまだ経験したことがない大地震だけど、いつか南海トラフ地震が来ると言われている今、何ができるのかを考えていきたい。少しでも多くの命が救われるように少しでも正しい情報を発信しようとした神戸新聞は、とてもすごく話を聞けて良かったです。

この地震で自分のお母さんのいところが亡くなったので、この話を聞いて良かった。津波は怖い。

地震は怖い。

昔の阪神・淡路大震災があったから、今の日本があると思った。

地震が怖いことを知った。新聞でスリッパが作れることを知った。地震が来たら海から遠い所に逃げる。

地震の話を聞いて、ちゃんと準備しようと思った。地震がおこるまでに避難経路を確認しておく。

僕は震災を直接経験したことないのですが、過去の話聞いて悲惨さを知りました。震災はこれから生きていく中でも経験するかも知れないので、今日の話を活かして生きていきたいと思いました。

災害は人が死んでしまうくらい危ないし、過去にいっぱい亡くなっているのが分かったからその過去を無駄にしないように今後気をつけたい。絶対死にたくない。

大災害が怖いと思います。普段は、準備が必要だと思います。

今日、阪神・淡路大震災の話を聞いて災害は急にきて、いつ来るかも分からないので、いつでも来ていいようにしないといけないと思いました。